

# 令和5年度事業報告書

自 令和5年4月1日  
至 令和6年3月31日

一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

JMCE

## 【はじめに】

当財団は、日本音楽の海外進出のハブとなるべく、本年度も「東京国際ミュージック・マーケット（TIMM）」を中心に事業を展開した。

今回で20回目の記念開催となったTIMMは、待望の4年ぶりとなるフルスペックの会場開催を再開し、コロナ禍で停滞したリアル会場でのビジネスマッチングを再び活性化させるべく、よりパワーアップしたプログラムを用意して実施した。

会場は、2023年4月に新宿歌舞伎町にオープンした各種エンターテインメント施設が集結し、新宿の新たなランドマークとなる「東急歌舞伎町タワー」を使用し、参加者は商談会やセミナー、ショーケースライブ等、各プログラムの参加から宿泊まで同一施設の中で完結する事が可能になった。

海外からの参加者数は前回のリアル会場開催時（2019年/16thTIMM）から減少したものの、近年招聘強化を進めてきたエージェントやイベント主催者などを中心に新規参加者も多く、出展者から好評を得た。

また、コロナ禍のオンライン開催会場として使用したビジネスマッチングサイト「TIMM ONLINE」を引き続き活用。サイトに実装するメッセージ機能を使っての商談のアポイント取りや会期後の参加者間の事後フォロー、更にはセミナーやライブのアーカイブ動画もサイト内で配信し、年間を通したビジネスマッチングもサポートしている。

TIMM以外の事業では、本年度の新規事業として、年間を通した日本音楽の国内外での認知向上とTIMM参加者の海外展開の支援を目的に、インターFMでの番組コンテンツ制作事業を開始した。この番組はインターFMでの放送、及びポッドキャストや動画等のインターネット配信を通じて幅広い聴取者にリーチしており、日本音楽の魅力を国内外にアピールした。

他方、コロナ禍の影響で停滞していた内外交流事業等については、日本においても感染症法の扱いが引き下げられ、ゼロコロナ政策等を続けてきた中華圏も規制が緩和されたことから、先行して緩和してきた欧米も含め完全にアフターコロナのフェーズに入った。これにより2019年に行った台湾清華大学へのCD寄贈事業の記念イベントへの招待参加や、ブルガリア、台湾で行われた国際音楽イベントへの招待参加など、日本音楽の海外展開に資する国際交流も段階的ながらコロナ前の状況に戻りつつある。

日本の音楽業界においても目を追うごとに海外進出の機運が高まって来ており、当財団では引き続きTIMMを中心に様々な事業を展開・強化し、日本音楽の海外進出をサポートしていく。

## 【主要事業】

### 1. 実施事業（公益目的支出 対象事業）

#### （1）「第20回東京国際ミュージック・マーケット(20thTIMM)」の開催

※定款第4条（4）

日本音楽の海外進出を支援する国際見本市として、令和5年10月25日から3日間、東急歌舞伎町タワーにて20thTIMMを開催した。本マーケットは、「海外バイヤー等との商談会・ビジネスマッチング」、「海外進出等をテーマとしたビジネスセミナーの開催」、及び「海外バイヤーに直接パフォーマンスをプレゼンできるショーケースライブの開催」を柱に実施しており、今年度も経済産業省、及びVIPOとの共催事業として開催した。

なお、出展者、及び海外バイヤーは会期の10月25日～27日以降も「TIMM ONLINE」の商談機能の利用やセミナー、ライブ等のアーカイブ視聴が可能にて、中長期でのビジネス展開もサポートしている。

実施内容の詳細、結果等は以下の通り。

#### ○実施概要

名称： 第20回東京国際ミュージック・マーケット（20thTIMM）

日程： 令和5年10月25日（水）～27日（金）

会場： 東急歌舞伎町タワー

- ・商談会、ネットワーキング／「SPACE EAST」「SPACE WEST」（17階／10月26日～27日）
- ・ビジネスセミナー／「109シネマズプレミアム新宿」（10階／10月26日～27日）
- ・ショーケースライブ／「Zepp Shinjuku」（B1～B4階／10月25日～27日）
- ・オープニングパーティー／「Zepp Shinjuku」（B1～B4階／10月25日）

TIMM ONLINE（ビジネスマッチングオンラインサイト）／商談・ネットワーキング、  
ショーケースライブ・ビジネスセミナーのアーカイブ配信

<https://www.timmjp.com/en/market/>

TIMM サイト（公式サイト）／ <https://www.timmjp.com>

主催： 経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構（VIPO）、  
一般財団法人 日本音楽産業・文化振興財団

後援： 一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会、  
一般社団法人 私的録音録画補償金管理協会、  
一般社団法人 日本音楽事業者協会、一般社団法人 日本音楽出版社協会、  
一般社団法人 日本音楽制作者連盟、一般社団法人 日本音楽著作権協会、  
公益社団法人 日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人 日本貿易振興機構、  
一般社団法人 日本レコード協会（50音順）

来場者数：(数字はのべ数／対前年実績数は前回のリアル開催の2019年の数値を使用)

○来場者合計：3,058名(前回5,122名／ライブ、オープニングパーティー含む)

- ・商談会、セミナー会場来場者：1,479名(前回2,982名／商談会場＋セミナー会場)
- ・ライブ会場来場者：1,579名(前回2,140名／前回は2会場を使用し3日間で4公演開催)  
(オープニングパーティー参加者数：約250名)
- ・セミナー聴講者数：664名(前回859名／前回は8本のセミナーを実施)
- ・ブース出展数：25社・団体(前回32社・団体)
- ・海外バイヤー参加者数：136名(事前登録195名)／24ヶ国・地域  
(前回169名／26ヶ国・地域)
- ・商談・ネットワーキング数：2,649回(前回は同指標での集計無し)

○各プログラム別詳細

#### 商談会、ネットワーキング

- ・日程：10月26日(木)～27日(金)／10:30～18:00(26日は11:00開始)
- ・会場：「SPACE EAST」、「SPACE WEST」、「JAM17Bar」(東急歌舞伎町タワー17階)

日本のレコード会社、音楽プロダクション等を中心に25社・団体の音楽コンテンツ系セラー等が出展。個別ブースの他に、フリーの商談スペースとして「JAM17Bar」及び屋外テラスも使用。両日とも活発な商談が行われ、参加者からも充実した交渉が出来た等、概ね好評を得た。

#### ビジネスセミナー

- ・日程：10月26日(木)～27日(金)／11:30～18:00
- ・会場：「109 シネマズプレミアム新宿・シアター7」(東急歌舞伎町タワー10階)

日本音楽の海外展開を進める上で関心・注目度の高いテーマを抽出し、2日間で6本のセミナーを実施。会場キャパが122席の為、満席の為入場できなかった聴講者用にZepp Shinjuku B3フロア「RING」に生中継会場を設置すると共に、自己の商談ブースでも聴講できる様、TIMM参加者のみがアクセスできる動画サイトでも生配信した。

キーノートスピーチには両日とも海外展開で成功を収めたアーティストが登壇。自らの実体験を元に日本音楽の海外展開について講義を行った。各セミナーの詳細は下記の通り。

【10月26日(木)】(以下、敬称略)

11:30～13:00

<テーマ>「APAC地域のインディペンデント事業者の挑戦と未来展望」

<共催>一般社団法人 Independent Music Coalition Japan (IMCJ)

<概要>世界におけるインディペンデント系の音楽レーベルや音楽プロダクションの集合体であるWorldwide Independent Networks (WIN) は、音楽マーケットにおいて不可欠な役割を果

たしており、アーティストやクリエイター等新たな才能を発掘、リスナーに多様な音楽体験を提供しつつ、常に変化しながら地域を拡大している。本セミナーではWIN代表とWINのメンバーであるIndependent Music Coalition Japan (IMCJ)の代表、並びに韓国のインディペンデント(LIAK)の代表が、特に昨今マーケットが活性化してきているAPAC地域に焦点をあて、インディペンデント系音楽レーベルや音楽プロダクション及びアーティスト、クリエイターが直面する現在の実情や課題、また未来への展望を探究した。

<モデレーター>

熊部 太郎／一般社団法人Independent Music Coalition Japan 副理事長

<スピーカー>

Noemi Planas／CEO, World Independent Networks (WIN)

Marty Ro / Director, Label Industry Association of Korea

山下 雄史／一般社団法人Independent Music Coalition Japan 理事長

14:00~15:30

<テーマ>「邦楽曲（内国曲）の海外展開のためのシンクロ活用戦略（成功の秘訣を探る）」

<共催>一般社団法人 日本音楽出版社協会 (MPA)

<概要>最近、邦楽曲（内国曲）を海外での映像作品（映画・テレビ・CM・ゲーム・配信等）で使用したいとの声が多く聞かれるが、その場合、何を注意し、どう整理して進めていけばよいか分からないことが多い。今回は、LAに拠点を置く音楽プロダクション・音楽ライブラリーの「DearBrand Production」の代表取締役で音楽プロデューサーでもあるTomo Suzuki氏をスピーカーに招き、日本の音楽出版社で原盤・出版（シンクロ）の業務をそれぞれ担当している実務担当者として上記テーマについて具体的な例を示しながら議論し、成功の秘訣を探った。

<モデレーター>

見上 チャールズ 一裕：一般社団法人日本音楽出版社協会 副会長、グローバルビジネス委員会  
委員長／株式会社ソニーミュージック・パブリッシング代表取締役

<スピーカー>

Tomo Suzuki／DearBrand Production 代表取締役、音楽ディレクター、プロデューサー

駒崎 絵里／株式会社ソニー・ミュージックマーケティングユナイテッド海外戦略本部  
海外マーケティング部 部長

福田 平八郎／株式会社日音 ライツ本部国際管理部ライセンスプロモート部

吉澤 俊輔／渡辺音楽出版株式会社 著作権部部長、一級知的財産管理技能士

16:30~18:00 / キーノートトーク①

<テーマ>「宅見 88 鍵伝」

<概要>アルバム『SAKURA』で第65回グラミー賞の最優秀グローバル・ミュージック・アルバム賞を獲得した宅見将典氏が、この快挙に至るまでの道のりを振り返りながら、今の日本音楽の可能性をグローバルな視点から解き明かす。また、独自性と情熱を持ち、挑戦を恐れずにグ

ローバルな舞台で活躍することの重要性についてもアーティストや業界関係者に向けて発信した。

<スピーカー>

宅見 将典/作曲家・編曲家・マルチインストゥルメンタルアーティスト

<進行>

鮎貝 健/司会者・MC、俳優、歌手・アーティスト、声優・ナレーター

【10月27日（金）】（以下、敬称略）

①11：30～13：00

<テーマ>「音楽ビジネスとテクノロジーの現在地（NFTとAIと、、、）」

<概要>ストリーミングサービスが音楽生態系の幹となった欧米では、次の収益源として NFT の活用がポイントになってきている。また、技術進化が激しいAI（人工知能）の音楽創作/制作との関係については、激しい議論が始まっている。2023年以降の音楽ビジネスにおいて避けて通れない NFT と AI について、現状はどうなっているのか？どうすれば稼げるのか？懸念点はなんなのか？本セミナーでは、それらのリアルな現在地を明らかにした。

<モデレーター>

山口 哲一/StudioENTRE 代表取締役

<スピーカー>

伴 幸祐/ドットミュージア株式会社 代表取締役

RIS-707/アーティスト

②14：00～15：30

<テーマ>「YouTube とデジタル・マーケティングの今～アジア地域における最新トレンド」

<概要>グローバルな活動を目指すアーティストにとって、海外のファンや視聴者向けの魅力的な動画コンテンツの活用は今や最も重要なマーケティング戦略の一つとなっている。本セミナーでは、YouTube Music チームから、世界戦略を視野に韓国、インドネシアを拠点としてアジア地域の最先端で活躍する二人の担当者を迎え、それぞれの地域のユーザー傾向や最新トレンドを分析。”アジアから世界へ“、アナリティクス解析が導くマーケティング戦略や APAC 地域横軸の世界戦略などに関して豊富な実戦経験や成功事例を交えながら解説した。

<モデレーター>

松島 功/株式会社 arne（アルネ）代表

<スピーカー>

サン・リー/YouTube ミュージックパートナーシップ（中国、香港、台湾、韓国）、

アーティスト/レーベルリレーションズ（APAC）、ディレクター

ムアラ・シパフタル/YouTube ミュージックコンテンツパートナーシップ（インドネシア）、

マネージャー

③16:30~18:00 / キーノートトーク②

<テーマ>「日本音楽の世界進出：成功への道と課題」

<概要>日本音楽が海外進出を果たすための条件について、日本音楽の魅力と国際市場での注目度にも焦点を当てつつ、海外市場の特異性、成功の秘訣、アーティストとファンのコミュニケーション、ソーシャルメディアやライブの役割等についてアーティストの視点とビジネス戦略視点からテーマ毎に考察していき、これからの日本音楽の将来展望をアーティスト、プロデューサー、ビジネスリーダーがそれぞれの独自の視点から論じた。

<モデレーター>

野本 晶/Merlin Japan

<スピーカー>

VERBAL/アーティスト、AMBUSH®CEO、m-flo・TERIYAKI BOYZ®

きゃりーぱみゅぱみゅ/アーティスト

Kevin Nishimura/co-CEO・co-founder, Transparent Arts

中川 悠介/アソビシステム株式会社 代表取締役社長

#### ショーケースライブ

・会場：「Zepp Shinjuku」(東急歌舞伎町タワーB1~B4階)

・出演者 (出演順)

10月25日(水)：SWEET REVENGE、ちゃんみな、新しい学校のリーダーズ

10月26日(木)：鋭児、BREIMEN、Klang Ruler、Chilli Beans.

10月27日(金)：Cö shu Nie、三月のパンタシア、メガテラ・ゼロ

生のパフォーマンスを観てもらうことが最大のPRツールである音楽業界において、期間中3日間で10組が出演。今年度から本ライブへの出演エントリー条件を見直し、これまで出展者のみに限定していたエントリーを出展の有無に関わらず、海外進出を目指すアーティストならエントリー可能(出演決定後はTIMMへの出展が条件)としたことで、すでに海外展開を強化しているアーティストや国内で人気急上昇しているアーティストのエントリーが増えると共に、本ライブに対する海外バイヤー等からの期待度、注目度も高める事が出来た。

なお、3日間ともライブ終了後に海外バイヤー等とライブ出演者、及びそのスタッフ等とのミート&グREETを実施。ライブの熱が冷めやらぬままTIMM参加者間の懇親やネットワーク作り、商談等が行われた。(25日の出演者は当日ライブ終了後のオープニングパーティーに参加)

#### オープニングパーティー

○日程：10月25日(水) / 21:00~22:00

○会場：「Zepp Shinjuku」(東急歌舞伎町タワーB3~B4階)

開催初日のショーケースライブ終了後に同会場にて実施。TIMM参加者に加え、日本音楽の海外進出に関係する音楽業界関係者や官公庁などが参加し、懇親を深めた。

## 2. その他事業(公益目的支出 対象外事業)

### (1) 公募助成、スカラシップ支援等

※定款第4条(2)(3)

本年度は全世界的に新型コロナウイルスの規制緩和が進み、各国のイベント等も段階的にリアル開催の再開が進んできたが、効果的な案件が無かったことにより渡航を伴うアーティストの派遣等も含め、今年度の事業の実施は見送る事となった。しかしながら、次年度については冒頭記載の通り全世界で完全にアフターコロナのフェーズに突入する事から、引き続き日本音楽の海外展開に効果的な施策を検討し、実施していく。

### (2) 内外交流事業

※定款第4条(5)

本事業については、アーティスト参加事業に関しては上記(1)同様の状況であったものの、当財団の国際交流事業としては5月にブルガリア音楽フェスティバル「SPIKE」への参加(招待)、令和6年3月には台湾「MEGAPORT FESTIVAL」へ参加(招待)し、現地にてTIMMのプロモーションと海外業界関係者とのネットワーキングを実施した。次年度についてもアフターコロナを踏まえたリアルイベントへの参加も含め、効果的な施策を検討し、実施していく。

### (3) 日本音楽を紹介するFM番組の制作事業

※定款第4条(2)

本事業は、日本の音楽を国内外に向けて紹介するコンテンツ(映像、音声)を制作し、発信する事業で、日本のアーティストの楽曲紹介やその創作過程のトピック、日本音楽に関する最新情報などで構成された番組を、FMラジオ放送や配信により国内外の一般ユーザーに向けて発信した。

番組内容は、TIMMのショーケースライブなどに出演したアーティストへのインタビューを中心に構成され、制作した番組コンテンツは映像と音声に分けて展開。音声コンテンツはJFN系列ラジオのインターFMにて放送され、さらに音楽配信のグローバルプラットフォームであるSpotifyでもPodCast形式で配信しており、映像コンテンツはYouTubeを中心に複数の動画配信プラットフォームで配信した。

#### <番組概要>

番組名 : DIG THE J-MUSIC

収録形態 : 完全パッケージ番組

番組概要 : 番組MC(関根麻里)とゲストアーティストによるトーク&楽曲オンエア

番組言語 : 英語&日本語

放送尺 : 30分

放送局 : interfm (89.7MHz)



放送時間： 毎週土曜日 21:00～21:30 (2023 年 10 月 14 日から放送開始)

配信媒体： Spotify interfm アカウント

<https://open.spotify.com/show/5ir3CEXrkJ6ZLzs7o0Ezis>

JMCE 公式 YouTube チャンネル (アーカイブ映像・音声を配信)

<https://www.youtube.com/user/promictv>

**【運営体制】**

1. 評議員会
2. 理事会
3. 三役会
4. 評議員選定委員会

以上